

「自然斜面の安定化技術」に関する講習会のご案内

自然斜面安定化技術講習会
運営事務局

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

近年、日本各地で台風や集中豪雨による地すべり・がけ崩れ・土石流の土砂災害が発生しております。このような環境の下、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」も3年目を迎え、斜面防災対策の重要性も高まっております。

そこで今回、自然斜面防災の最新の知見や、調査・対策技術に関してご説明させて頂く機会を設けたいと考え、自然斜面の防災技術の発展に真摯に取り組んでいる2つの研究会が合同で、講習会を開催する運びとなりました。

斜面の樹木を活かし、自然斜面の安定化を図ることができる「ノンフレーム工法」は、自然環境や景観保全に加えて、建設労働者人口減少に伴い省人化に対する意識が高まる中、注目を集めています。さらに、盛土規制法の施行に伴い、盛土等の安全対策工法としても広く普及が進むものと考えられます。

自然斜面の地質調査に適したSH型貫入試験は、地盤調査の技術として「地盤調査の方法と解説」（公益社団法人地盤工学会）を始め、各種指針等にも掲載頂く等、自然斜面の調査・対策技術として、その活用実績を年々拡大しています。

斜面防災に関心をお持ちの皆様のご参加を、心からお待ち申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 2023年11月9日(木) 10時30分～17時00分

(受付開始 10時00分)

2. 講習会場 CIVI 北梅田研修センター

〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2-7-18 LUCID SQUARE UMEDA 5階

3. 参加料 無料

4. CPDポイント 地盤工学会ならびに森林分野(JAFEE)のCPDプログラム

JCCA認定プログラム 単位申請予定

(最大限認定された場合、5.0～5.5ポイントとなる見込みです)

※建設系CPD協議会加盟の他団体でのCPD単位申請については、各団体の問合せ窓口までお問合せ下さい。

5. 申込要領 下欄申込書要領 URL または QR コードにアクセスし所定事項を入力願います。

【申し込み期限：2023年11月1日(水)】

(先着130名様。応募者多数で受け付けられない場合、事務局からご連絡致します。)

6. スケジュール

時間	内容	講師
10:30~10:35	開 会 挨拶	
10:35~11:20	斜面の地質的特徴と調査方法	表土層調査技術研究会 中野 裕司
11:20~11:30	質 疑 応 答	
11:30~12:20	昼 休 憩	
12:20~13:10	ノンフレーム工法の概要、 設計、事例紹介	ノンフレーム工法研究会 技術委員長 大高 範寛
13:10~13:20	休 憩	
13:20~14:10	ノンフレーム工法の施工、 維持管理について	ノンフレーム工法研究会 技術委員 衛藤 智徳
14:10~14:20	質 疑 応 答	
14:20~14:30	休 憩	
14:30~15:20	特別講演 「林地開発に関わる斜面安定性評価の 現状と課題」	ノンフレーム工法研究会 顧問 落合 博貴
15:20~15:30	質 疑 応 答	
15:30~15:40	休 憩	
15:40~16:50	特別講演 「個別最適から全体最適の視点&新技 術・工法のエビデンスの具体」	大阪大学名誉教授 (一財)土木研究センター顧問 常田賢一 様
16:50~17:00	質 疑 応 答	
17:00	閉 会	

※開会・閉会時刻以外のスケジュールは、若干変更させて頂く可能性がございます。

<お問い合わせ先>

自然斜面安定化技術講習会運営事務局（筒井・池田）TEL03-6625-6230、FAX03-6625-6231

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号（日鉄建材(株)気付）

参加申込書

大阪市北区 会場

自然斜面安定化技術講習会 運営事務局宛

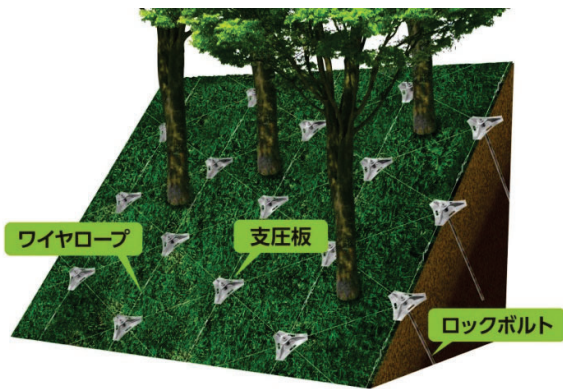
下記の URL もしくは、QR コードの申込み専用フォームからお申込みください。

<https://00m.in/lqfRP>





安定な地盤まで補強材(ロックボルト)を打ち込み、地表面には支圧板を取り付けて、崩れやすい土を押し込みます。さらに全体をワイヤロープで連結して、斜面の安定性を高め、がけ崩れを防ぎます。



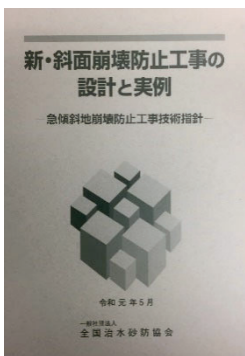
構造イメージ



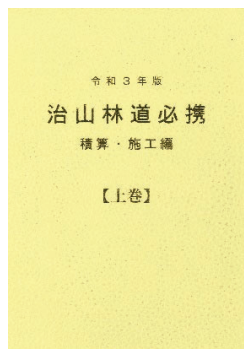
ノンフレーム工法で施工した斜面は、自然も守られています。

急傾斜地崩壊防止工事技術指針 に掲載 (事例写真)

「治山林道必携」に歩掛りが掲載



掲載写真



「平成29年度治山林道必携」より、ノンフレーム工法の施工歩掛りが標準歩掛りとして掲載されました。

- 4-7 斜面安定工
- 4-7-2 鉄筋挿入工(自穿孔)
- 4-7-3 頭部連結併用工

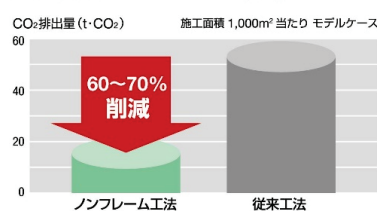
新・斜面崩壊防止工事の設計と実例
— 急傾斜地崩壊防止工技術指針 —
令和元年5月 (改訂版)

SDGs 実現に資する工法

本編 第10章 地山補強土工法の設計・施工

ワイヤロープ併用型として、
ノンフレーム工法の写真が掲載
(本編268ページ)

工事で排出されるCO₂量の比較



従来工法に比べ工事で排出される二酸化炭素は60~70%削減できます。また、木を切らないで斜面の安定を図るため、森林環境を守ります。

「建設施工における地球温暖化対策の手引き」(社)日本建設機械化協会 平成15年7月を元に算出

【会場アクセス地図】

【開催概要】 2023年11月9日（木） 10時30分～17時00分

CIVI北梅田研修センター 5F「507」

〒530-0012 大阪市北区芝田2-7-18 LUCID SQUARE UMEDA 5階 (CIVIフロント5階)

🚶 JR「大阪」駅 御堂筋北口から徒歩5分

🚶 大阪メトロ御堂筋線「梅田」駅 5番出口から徒歩3分、阪急「梅田」駅 茶屋町口から徒歩5分

